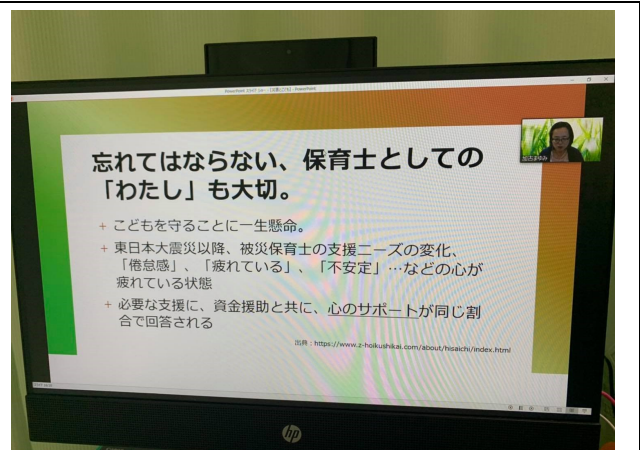


2020 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	一般社団法人 こどもスマイルミーティング
活動テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・世界一受けたい防災授業 ・被災地ロケットくれよんチャリティーコンサート ・災害の時だからこそ子どもの居場所を守ろう



○保育士対象の防災研修(世界一受けたい防災授業)

この活動の動機は一昨年の西日本豪雨災害の時に避難はしたが果たしてもっとできることややらなければならないことがあったのではと疑問を持っていました。マニュアルを作成したり災害について調べたりする中で自分で避難リュックなど作成もした。実際の現場で働かれている方から生の声を聴く中で学びたいと思った。

目的: 保育士が保育園で災害時子どもの命を守るためにどうしたらいいか心構えと対策を考える。

実施内容: 元消防士の方から災害時の話を聞いたり映像で見たりして災害の恐ろしさを知る。また消防士さんから見た対策法や避難するとき何が必要か学ぶ。

成果: 簡単にできるオムツや包帯やコートなど作成する。

日頃から災害に関する情報収集をして保育士間で情報共有する。

○被災地ロケットくれよんチャリティーコンサート

被災地の住む場所は整備されてきているが被災された方は心の傷が深いことを知る。保育士として親子の方々と触れ合うことが多い当団体。親子で気軽に楽しめることは何かと考える。歌ったり踊ったり身体を動かすことや親子で触れ合う事で楽しい時間を持ってもらう事で心が軽くなるようにしたいと考えた。

目的: 被災地の方々の心の傷が癒えるように被災地での親子コンサートを開催した。コンサートの時は災害に必要な防災グッズの準備の大切さなどお知らせする。

成果: 親子の方々が楽しくコンサートに参加され「楽しかった」と言ってくださった。また掲示のリュックを手にとって見られる方が多かったのでご家庭でも作って頂けるのではと思う。

○保育士対象の防災研修(災害の時だからこそ子どもの居場所を守ろう)

西日本豪雨災害の被災時託児をした時の課題であった子どもの居場所作りについて広島大学の加古まゆみさんに学ぶ。今回はコロナ禍で対面の研修が難しくZOOMでの研修にした。現役保育士10名その他3名で研修を受ける。災害は起こったときだけでなく起こる前からその準備は始まっている、ということで災害時の子どもの変化(乳児…ミルクののみが悪くなる。夜泣き不機嫌など。幼児…不眠、食欲不振、赤ちゃん返り、夜泣きなど)から子どもの居場所を保育士としてどうすればいいかみんなで話し合いながら考える。

ポイントは

- ①子どもにとって安全な場所であること
- ②子どもを受け入れ支える環境であること
- ③地域の特性や文化の対応力に基づいていること
- ④みんなが参加しともに作り上げること
- ⑤様々な領域や支援活動を提供すること
- ⑥誰にでも開かれていること

災害が起きて対策するのではなく逆算して災害が起きて必要なこと(保育園なら避難訓練や保護者の連絡ツール、地域の資源など)保育士と話し合いながら考えていく。その中で日々の訓練や防災リュックの点検や園内の危険なところなど見えてくるものがあつたので研修後もう一度話し合いマニュアルを改定していく。